

日韓トンネル (対馬～慶尚南道海底トンネル)

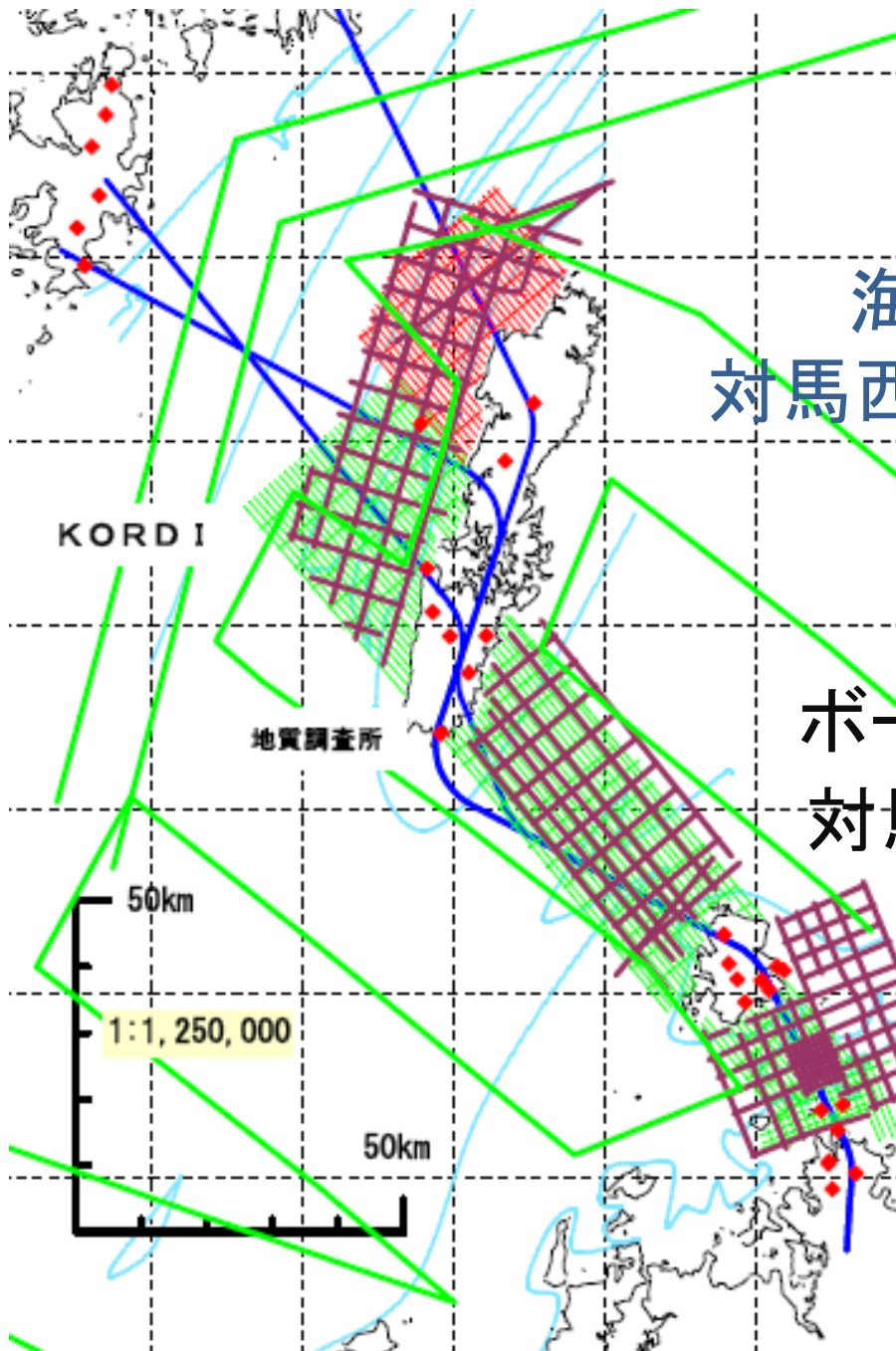
日韓トンネル技術委員会

一般財団法人 国際ハイウェイ財団 日韓トンネル地質調査活動

- 国際ハイウェイ財団の前身
国際ハイウェイ建設事業団
(初代理事長 梶栗玄太郎)は、
日韓トンネル研究会(初代会長 佐々保雄)
を創設し、1982年より 日韓トンネルの実現
の技術的可能性を探るため精力的な地質調
査活動を実施してきた。

海峡部地質調査
海洋音波探査16, 654km
対馬西海岸沖海洋ボーリング500m

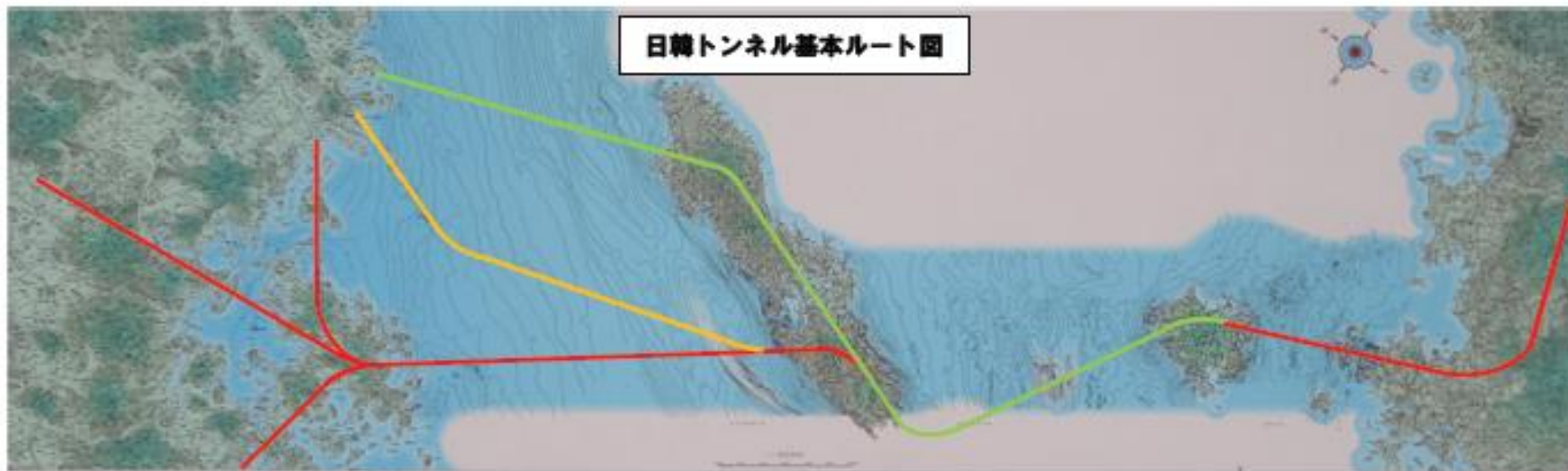
陸上部地質調査
ボーリング調査23か所9, 480m
対馬・壱岐・唐津全域の地表踏査



実際に唐津に地質と施工調査を目的 とした調査斜坑600mを掘削

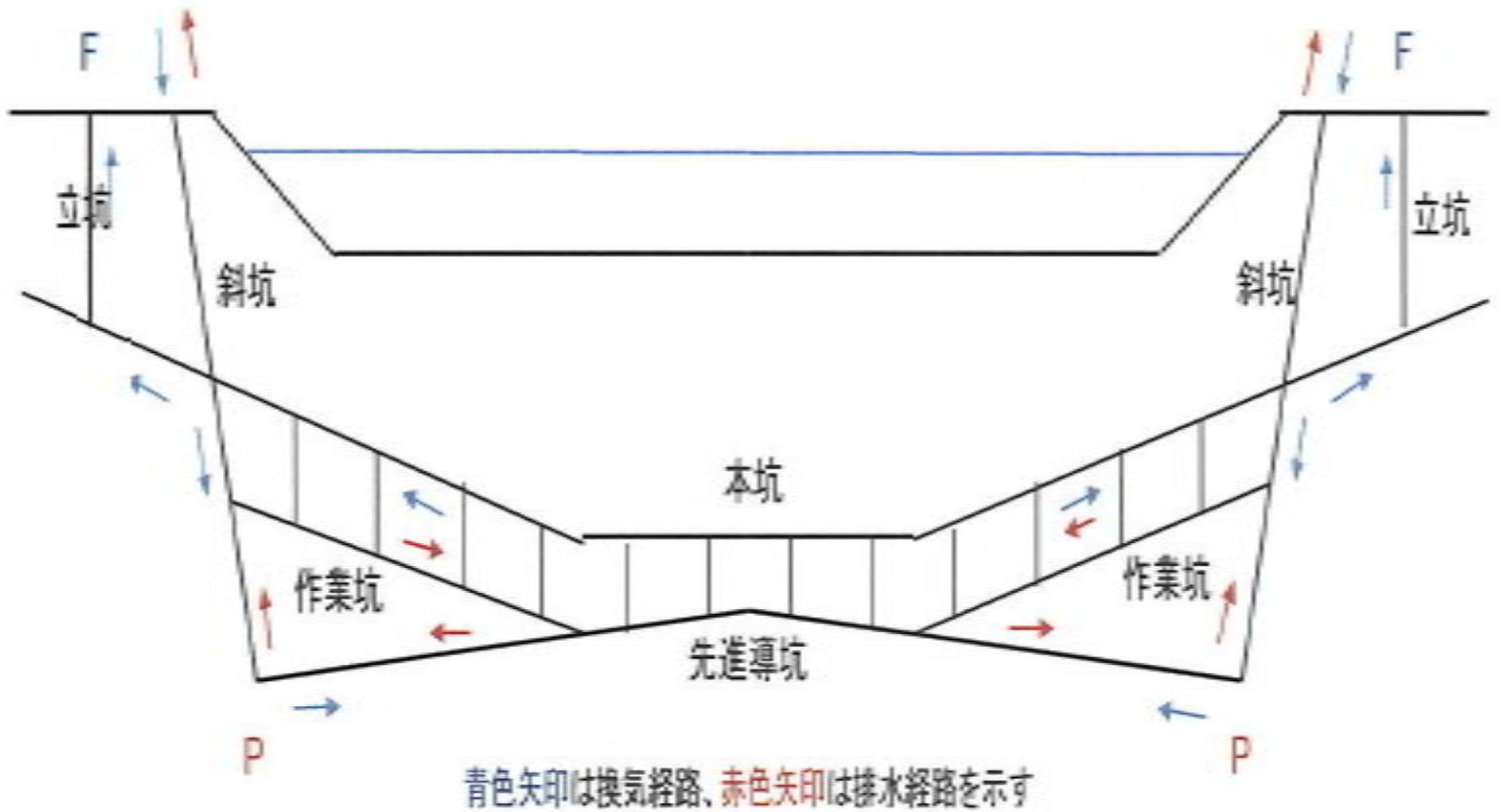


調査結果をもとに 日韓トンネル研究会(2代会長持田豊) は3本の基本ルートを選定



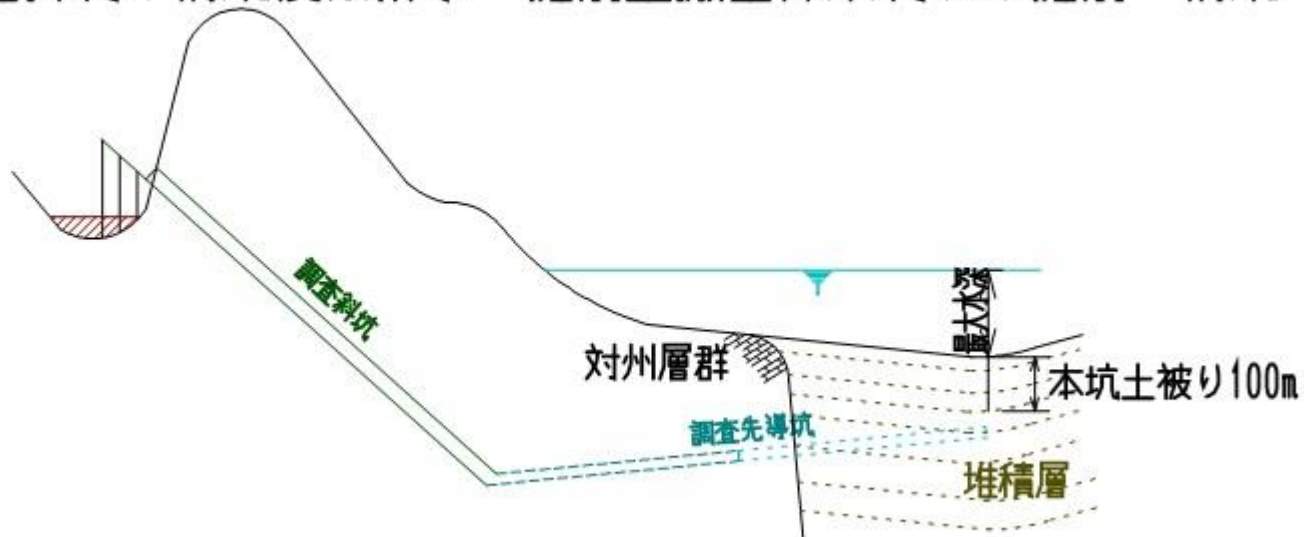
- Aルート
- Bルート
- Cルート

海底トンネルの実際の施工法は青函トンネルの完成により確立されている



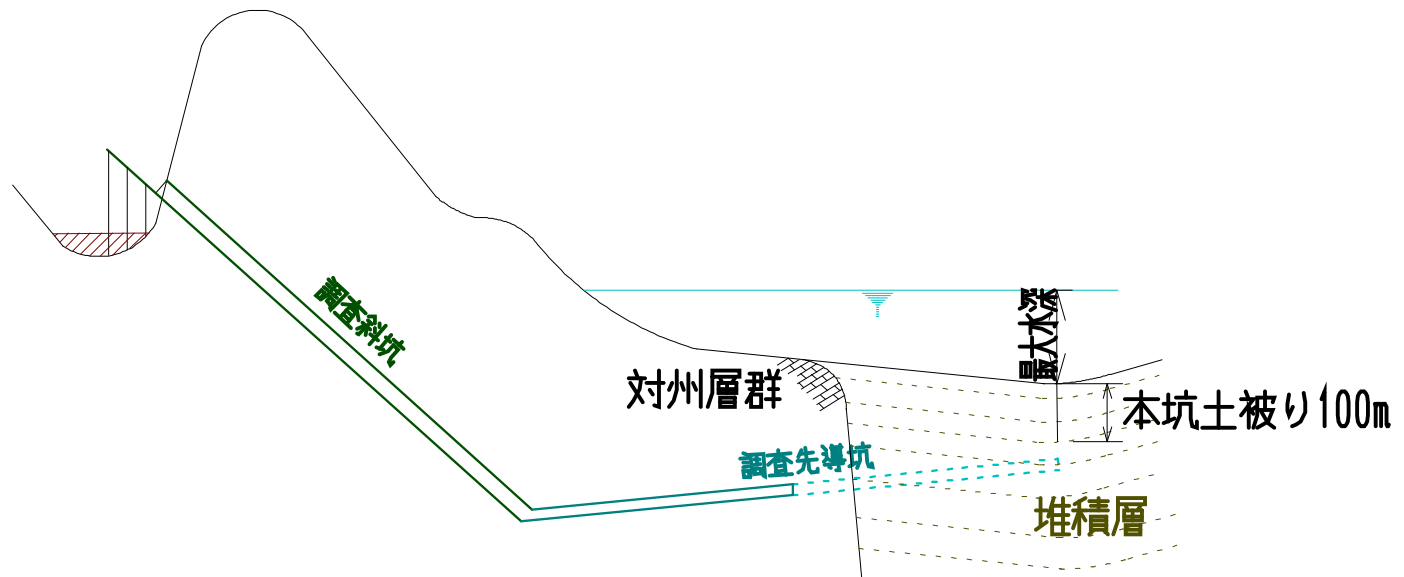
海底トンネル施工フロー図①

①調査斜坑（構築後は排水・掘削土搬出作業坑）の掘削・構築



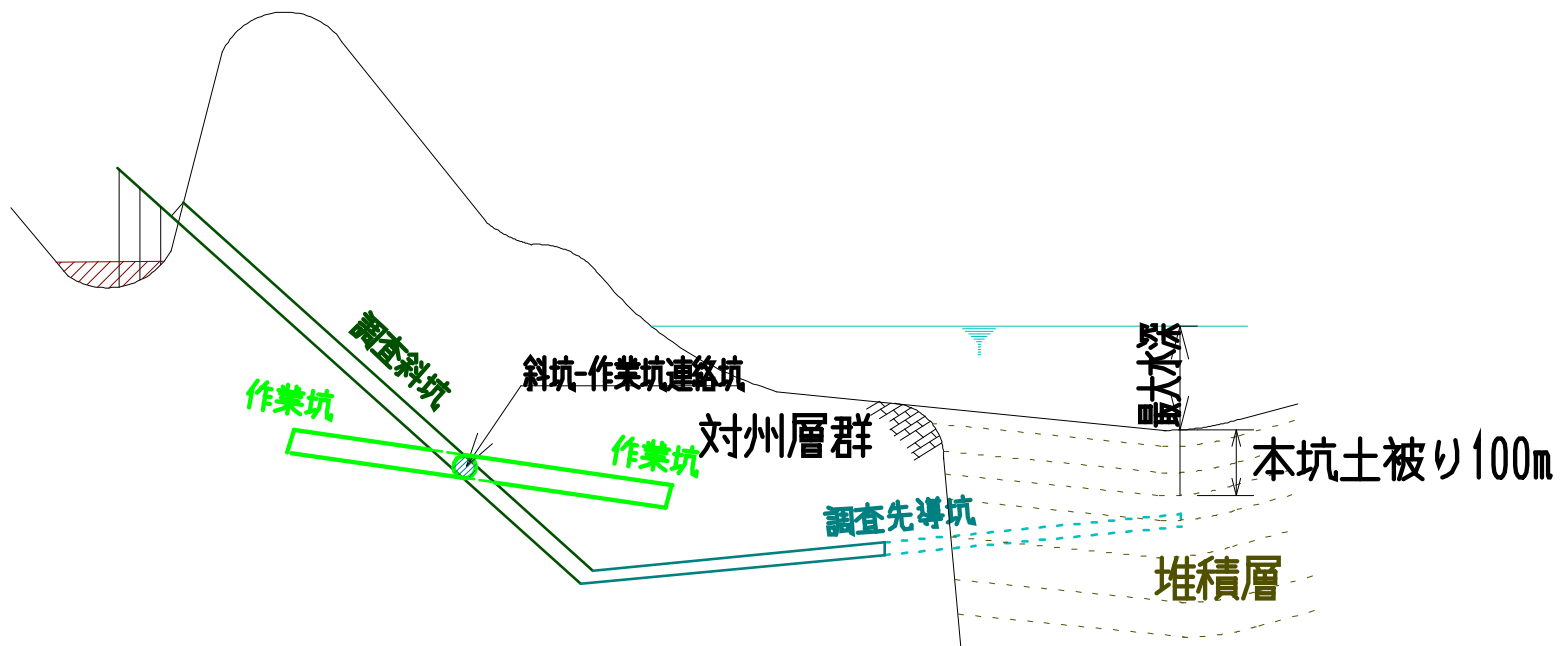
海底トンネル施工フロー図②

②調査先進導坑の掘削



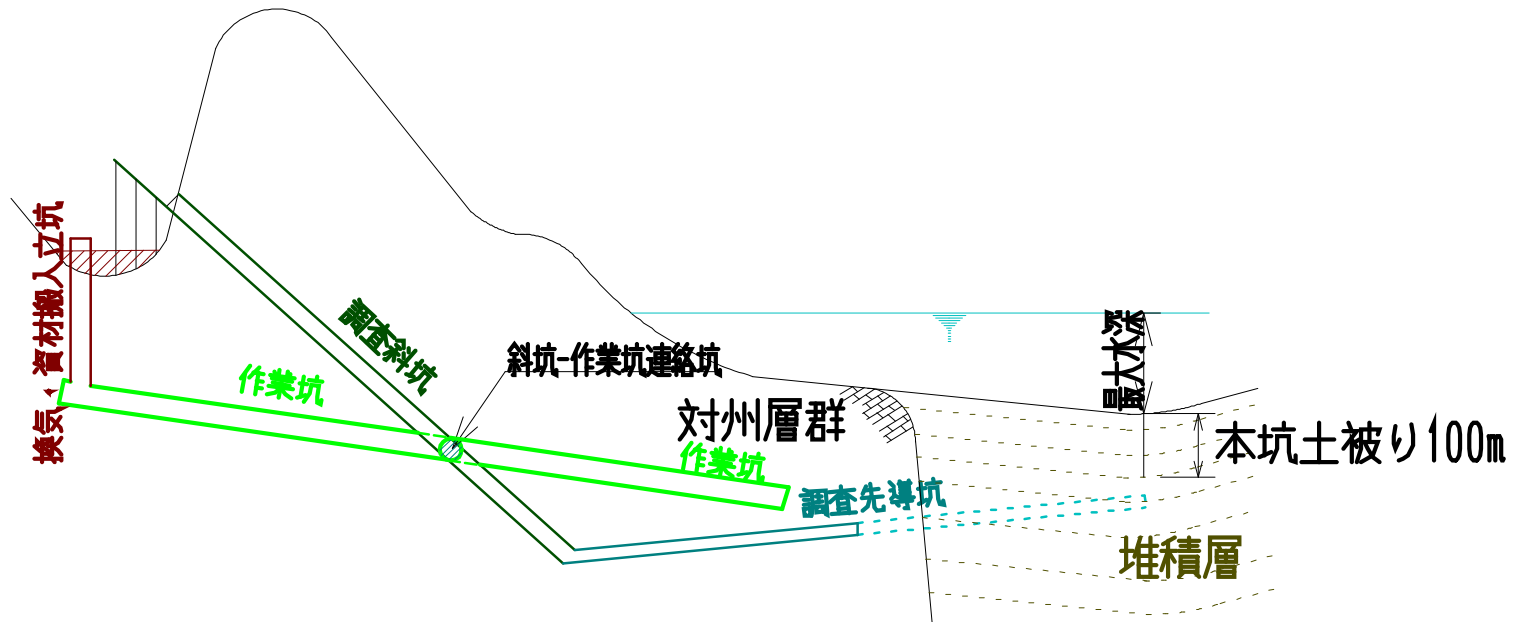
海底トンネル施工フロー図③

③作業坑の掘削・構築



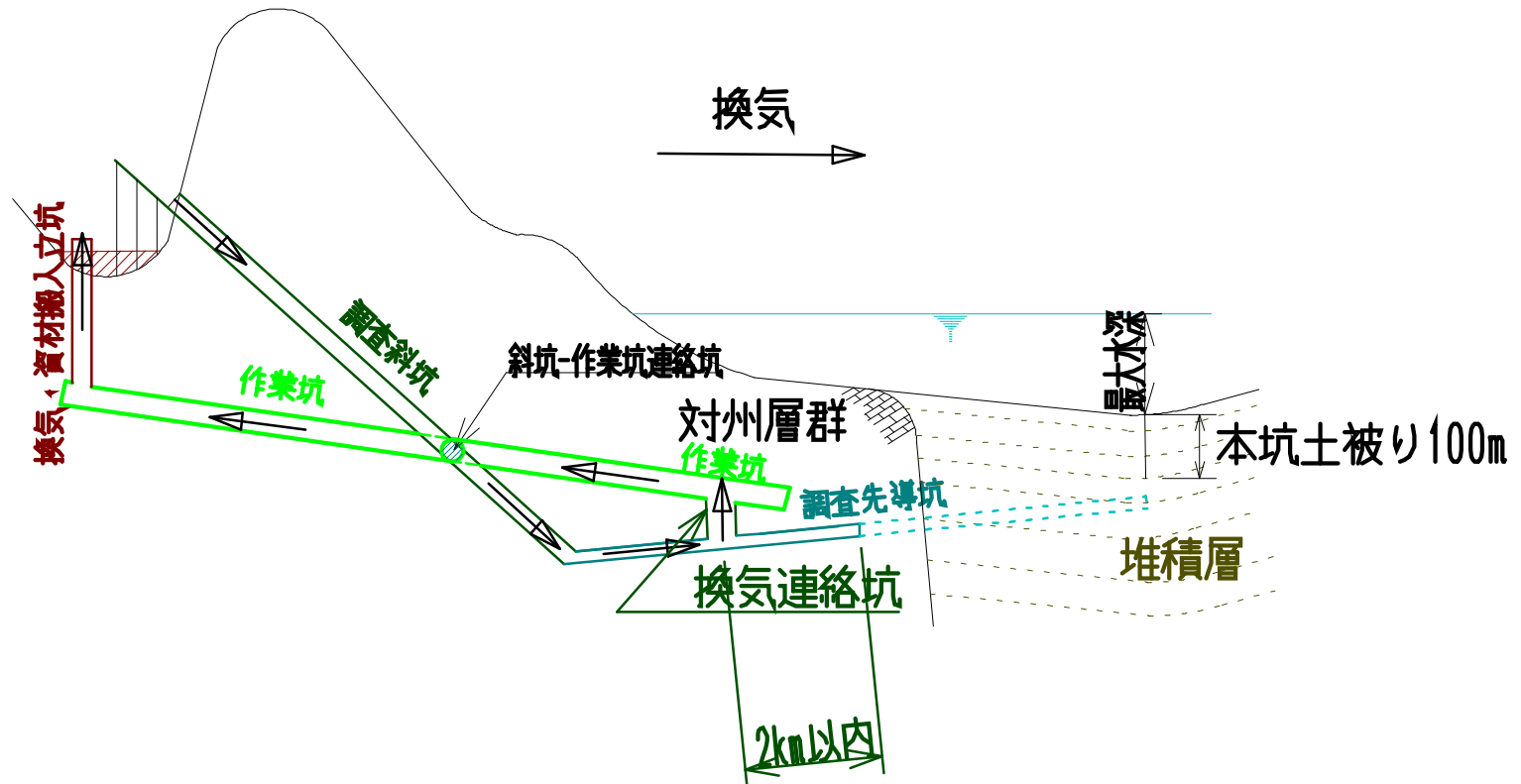
海底トンネル施工フロー図④

④換気・資機材搬入立坑の掘削・構築



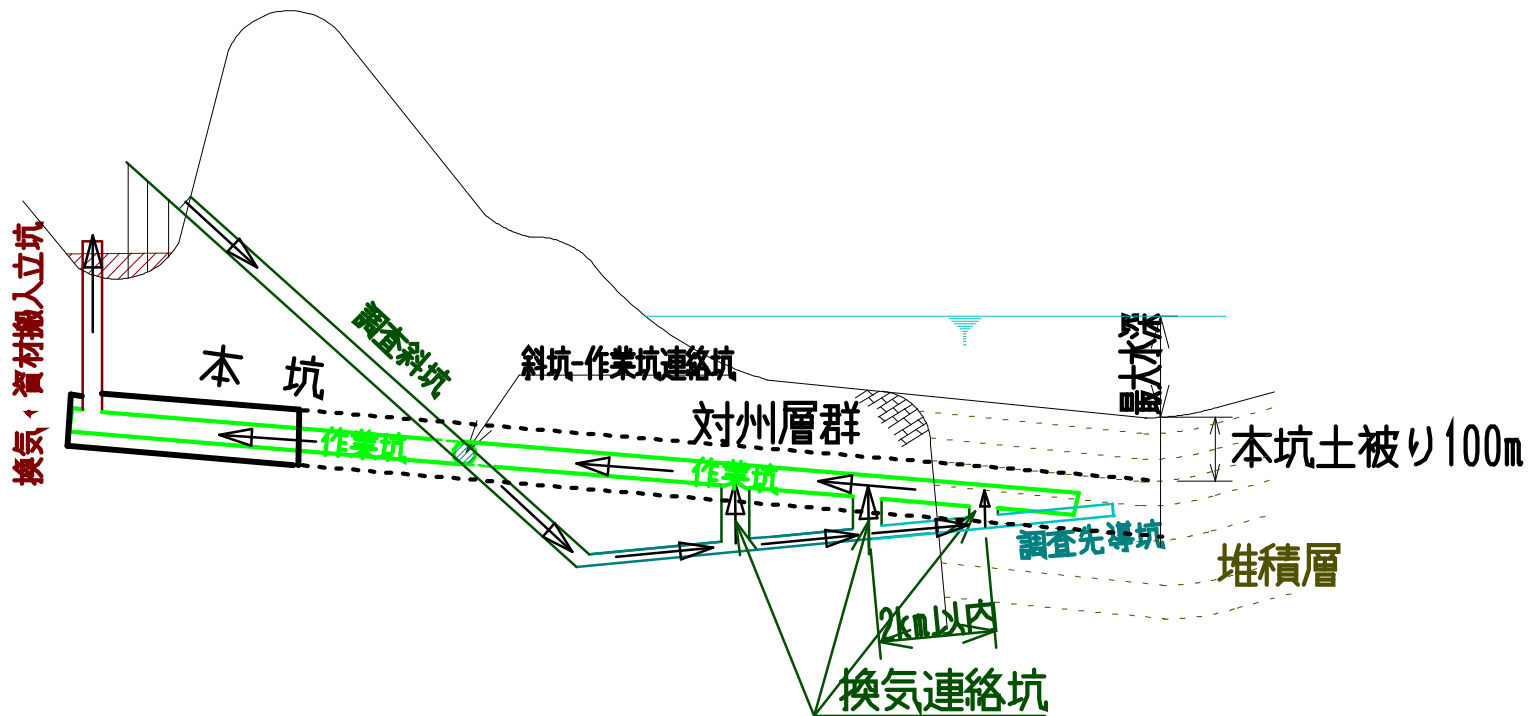
海底トンネル施工フロー図⑤

⑤換気連絡坑の掘削（先進導坑－作業坑）



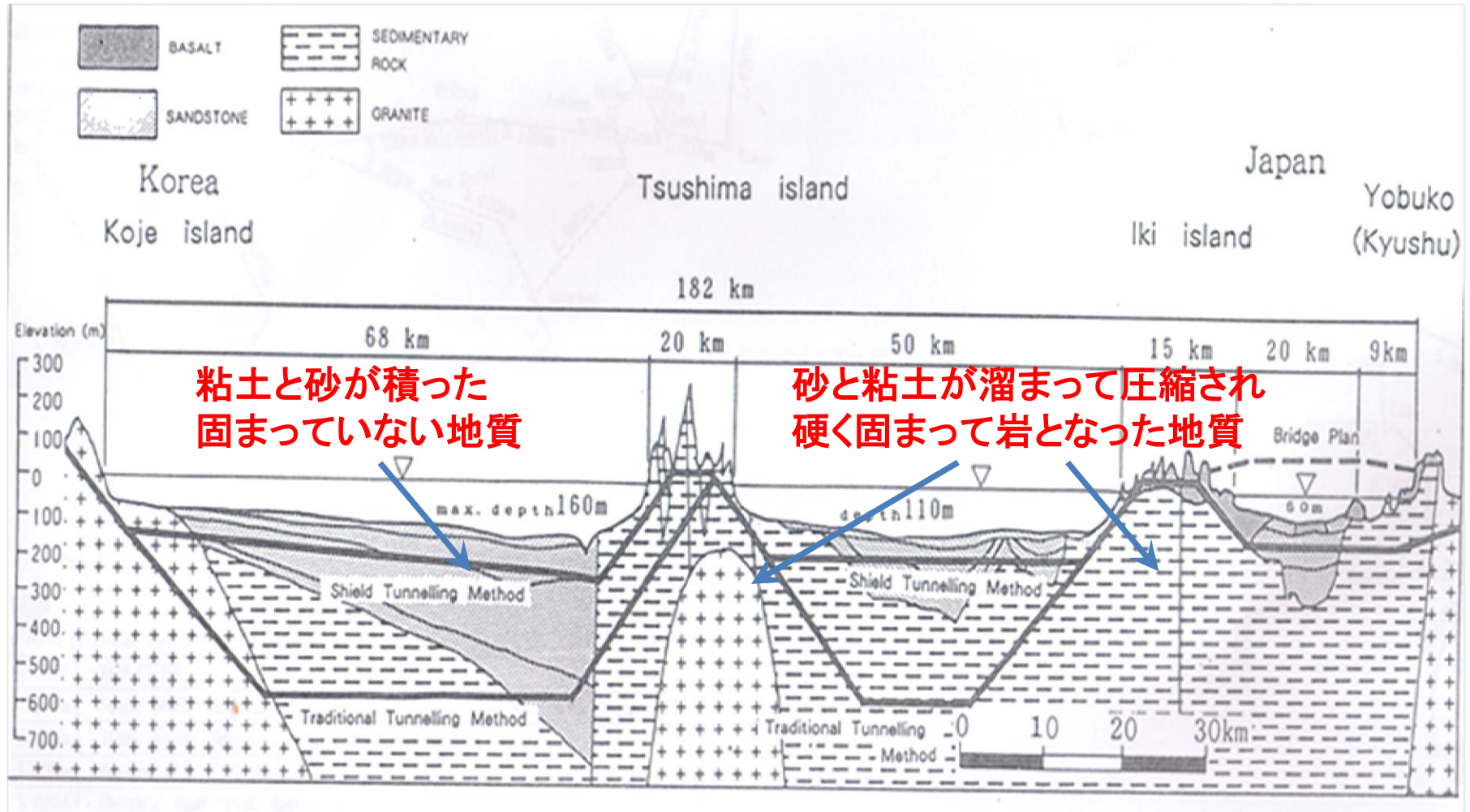
海底トンネル施工フロー図⑥

⑥本坑掘削

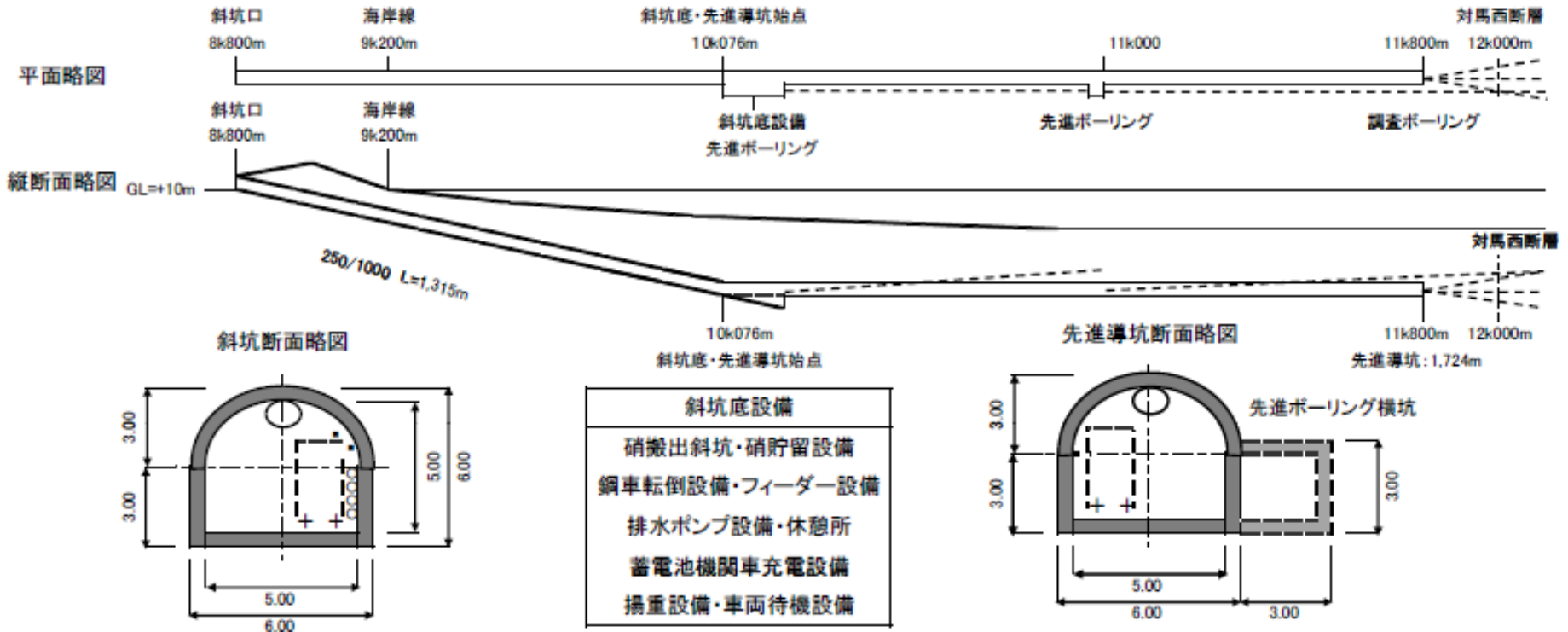


日韓トンネル計画縦断面図

(日韓海底トンネル計画: 持田豊より転載)

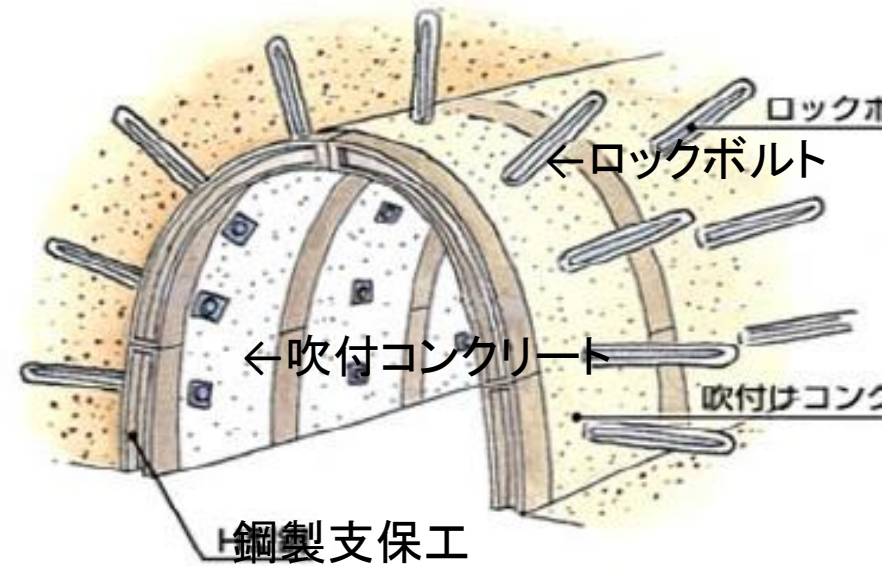


阿連調査坑計画

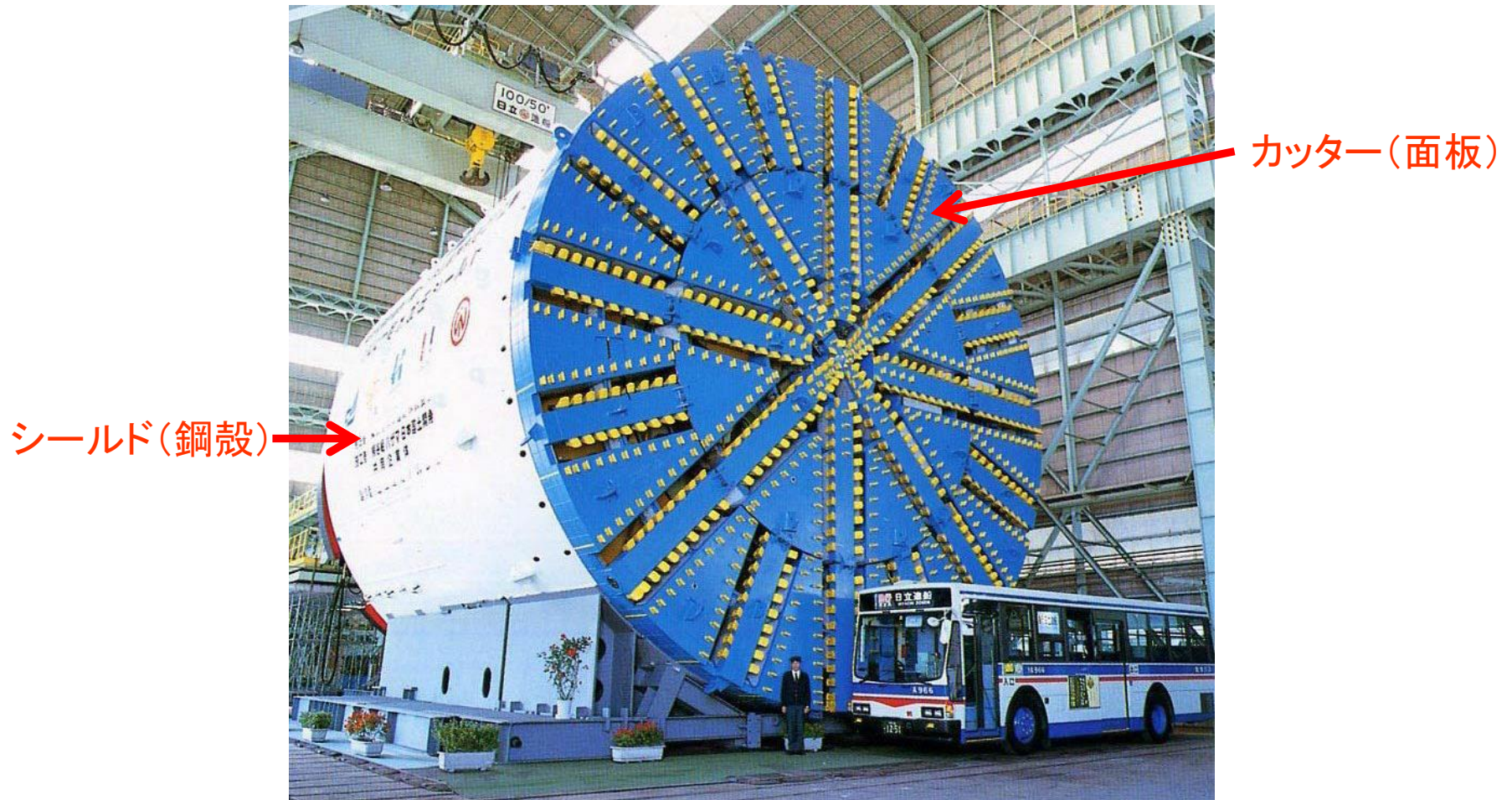


山岳工法(覆工)

Traditional Tunneling Method



シールド工法(泥水シールド) Shield Tunneling Method



対馬一慶尚南道海底部工程表

